

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 25 日作成)

小委員会名	福祉施設小委員会	主 査 名：巖 爽 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (施設計画運営委員会)	委員長名：広田 直行 主 査 名：小篠 隆生
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>【設置目的】地域コミュニティの継続を支える福祉施設のあり方に関する文献研究、事例研究および実践的環境づくり研究を行う。</p> <p>【具体的活動計画】</p> <p>2018 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域一体で住民を見守るインクルーシブなまちづくりが実現された国内・先進事例を収集、整理し、「地域包括ケアシステム」における課題、と今後の方向性を整理する。 <p>2019 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの委員会活動の総括を行う。公開研究会「地域社会に向かう福祉施設」を実施し、成果公表を行う。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし	
	巖爽 (主査、宮城学院女子大)、松田雄二 (幹事、東大)、松原茂樹 (幹事、阪大)、橋弘志 (実践女子大)、石垣文 (広大)、加藤悠介 (金城学院大)、二井るり子 (二井清治建築研究所)、山田あすか (電機大)、森一彦 (大阪市立大)、藤田大輔 (福井工大)、谷本裕香子 (東洋大)、古賀誉章 (宇都宮大)、古賀政好 (竹中工務店)、神吉優美 (奈良県立大)	

設置 WG (WG 名：目的)	<p>「地域社会に向かう福祉施設」編纂 WG：地域一体で住民を見守るインクルーシブなまちづくりが実現された国内・先進事例を収集、整理し、「地域包括ケアシステム」における課題、と今後の方向性を整理する。</p> <p>福祉起点型共生コミュニティ研究 WG：この福祉起点型共生コミュニティの概念によって地域づくりと医療・介護・生活・就労の基盤再整備の手法の統合的整理、その拠点形成のための計画手法の提言を行う。</p>	
2018 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. (書名) 実施せず
講習会	1. (名称) 実施せず 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 福祉転用シンポジウム (2018 年 10 月 11 日実施) 参加者数約 40 名
大会研究集会	1. (名称) 参加者数 名 (資料名)
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>2018年度に予定している目標はほぼ達成しており、具体的な活動はいかに示す。 1. 事例収集を目的とした見学会を2回開催した。(①9月4日 医食住と学びの多世代複合施設アンダンチ。②2月17日(日)あそび創造広場 TSURUMI こどもホスピス) 2. 福祉転用シンポジウムを実施し、福祉転用の手法に関する議論がなされた。 3. 福祉施設の空間/制度に関する時系列整理を引き続き行った。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>特になし</p>